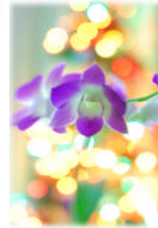


学校だより



アビラ



第36号
(通算199号)

平成 28 (2016) 年 8 月 25 日
在ベネズエラ日本国大使館
附属カラカス日本人学校発行

目指す児童生徒像 よく考える子 思いやりのある子 進んでやりぬく子 強くたくましい子 日本もベネズエラもよく知る子

授業日数87日の一番長く、中身の濃い2学期がスタートしました！ 2学期に大切にしたい3つの「々」のつく言葉について話しました！



私たちは大きな家族です

もくもく
黙々

ひとびと
人々

ひび
日々

■ 2学期が始動しました！ ■

8月23日(火)に第2学期始業式を行いました。全校児童6人が元気に笑顔で登校しました。1ヶ月間の夏休みで体も心も大きくたくましくなったような気がしました。夏休みの思い出と2学期に向けての決意を、代表児童が堂々と発表しました。校長先生からは、「々」の記号の付く3つの言葉

「黙々」「人々」「日々」を使って、2学期に頑張る目標の話がありました。

「黙々(もくもく)」…勉強や掃除をするときは、おしゃべりなどをしないで「黙々」とやりましょう。

「人々(ひとびと)」…いろいろな国のいろいろな「人々」との出会いを2学期も大切にしましょう。

「日々(ひび)」…海外で学ぶ、カラカス日本人学校で学ぶ貴重な「日々」を大切にしましょう。

平成28年の2学期をすべての児童にとって、思い出深い最高の学期にします。期待してください。

カラカス日本人学校をもっともっと知り、もっともっと好きになるために…(その116)

カラカス日本人学校はみんなの大切な、大切な宝物です！ NO. 11

日本ソフトボール協会のホームページにも、本校が登場します。ここに紹介します。

第12回世界女子ソフトボール選手権大会(ベネズエラ・カラカス)が平成22年6月23日~7月2日の予定でカラカスで開催されました。その際、チームの皆さんが大会中の6月28日に日本人学校を訪問してください。子どもたちと親しく、楽しく交流しました。その時の様子が、ホームページに写真と文で紹介されています。下の左の写真には、「カラカス日本人学校を訪問。楽しいひとときを過ごした」というコメントがあり、右の写真には、「岡村奈々投手の快速球にビックリ！子どもたちの輝く瞳に力をもらった」というコメントがあります。



調べてみると、このときの大会では、日本チームはアメリカに次ぐ準優勝でした。(ベネズエラは予選リーグ、アメリカに次ぐ2位でしたが、決勝トーナメント初戦で日本に敗れています)昨年2015年の国際大会でも、アメリカが優勝、日本は準優勝となっています。2008年北京五輪で優勝した日本、2020年にはソフトボールが五輪種目に復活します。その時には、こんなカラカス日本人学校とのつながりを思い出しながら応援したいなと思いました。(ベネズエラのチームは、今も世界レベルで頑張っています)